

1. root のフォルダ構成

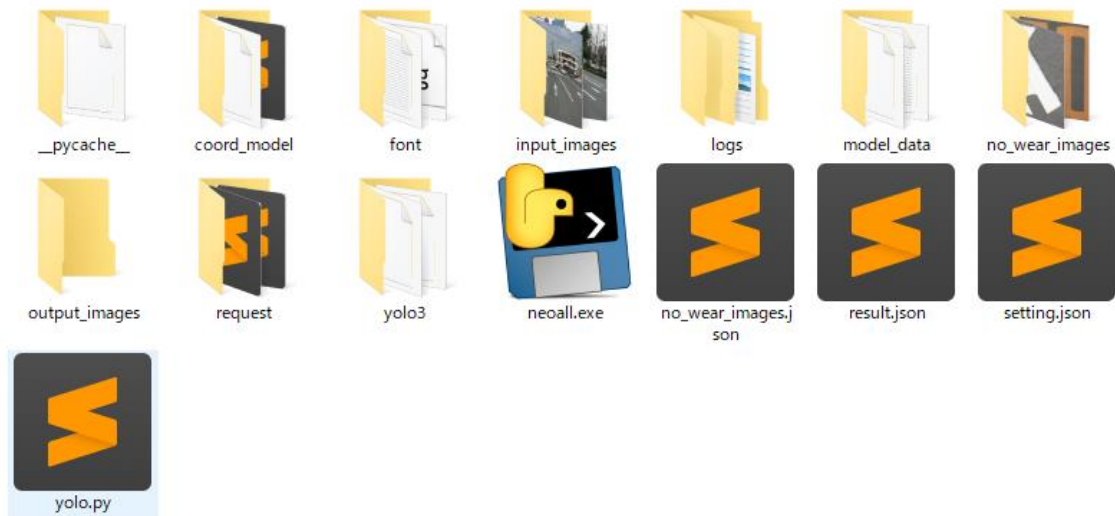


図1 フォルダ構成 (root)

ご提供する root フォルダの構成は、図1の通りとなっています。前回ご提供した exe ファイル (2021 年 1 月 29 日にご提供) からの変更箇所についてのみ、詳しい解説を行います。

2. “request”フォルダ

“request”フォルダ内には、“request.json”と“started.json”がございます。“request.json”で、“input_images”フォルダ内の、道路標示の摩耗率推定を行いたい画像を指定していただきます。“started.json”は、“neoall.exe”を起動した際に生成される json ファイルです。

3. “neoall.exe”

RoadViewer との連携に対応した実行ファイルです。起動方法は下記の通りです。

neoall.exe (入力画像フォルダ) (出力画像フォルダ) (利用 GPU 番号) (プログレスバーの表示)

第一引数：入力画像フォルダ

入力画像を保存しているフォルダを指定するための引数

第二引数：出力画像フォルダ

路面標示のポリゴン領域を推定した画像を出力するフォルダを指定するための引数

第三引数：利用 GPU 番号

利用する GPU の番号を指定するための引数
“-1”を指定すると、CPU モードで起動します。

第四引数：プログレスバーの表示

プログレスバーの表示・非表示を指定するための引数
0：非表示 1：標示

neoall.exe 起動時の第一・第二・第三引数で入力画像フォルダ・出力画像フォルダ・利用 GPU 番号を指定できます。そのため、“setting.json”内の“input_folder”, “output_folder”, “cpu_flag”で指定した引数は参照されません。お気を付けてください。

今回お渡ししたフォルダ（2021 年 3 月 18 日ご提供）の“setting.json”には“input_folder”, “output_folder”, “cpu_flag”が残っていますが、削除して頂いても動作に問題はありません。

© 2021 長岡技術科学大学 岩橋研究室
無断での転載・配布等の無いよう、お願い申し上げます。